

あなたやご家族のことについておたずねします

問1 あなたの性別は。[○は1つ]

1. 男性 (と自認)	2. 女性 (と自認)	3. どちらともいえない、または答えない
-------------	-------------	----------------------

問2 あなたの年齢は。[○は1つ]

1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	

以下、「この調査で結婚」は、法律上婚姻していない、いわゆる事実婚を含みます。
また「配偶者」という場合は、あなたの夫、妻、同居しているパートナーのことを意味しています。

問3 あなたは結婚していますか。[○は1つ]

1. 結婚している	2. 結婚していない
3. 結婚していたが、離別した	4. 結婚していたが、死別した

問4 あなたの世帯構成は、次のうちどれですか。[○は1つ]

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ
3. 夫婦と子ども (二世帯)	4. ひとり親と子ども (二世帯)
5. 祖父母と親と子ども (三世帯)	6. その他 (具体的に)

問5 あなたには、同居している 12歳以下のお子さんかいますか。[○は1つ]

1. いる	2. いない
-------	--------

問6 あなたと配偶者 (結婚している方のみ) のお仕事についてお答えください。[] 内に数字を記入してください

(1) あなたのお仕事

(2) 配偶者のお仕事

1. 正社員で、フル就業している	2. 非正社員で、フル就業している
3. 非正社員で、パート就業している	4. 自営業、またはその手伝いをしている
5. 仕事をもっていない	6. 配偶者は、いない

問7 あなたの世帯の昨年1年間の収入 (税込み) は、おおよそいくらでしたか。[○は1つ]

1. 103万円未満	2. 103～200万円未満	3. 200～300万円未満
4. 300～400万円未満	5. 400～500万円未満	6. 500～700万円未満
7. 700～1,000万円未満	8. 1,000万円以上	

東大阪市 男女共同参画に関する市民意識調査

調査ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから市政にご理解とご協力を賜う誠にありがとうございます。

東大阪市では、平成28年3月に「第3次東大阪市男女共同参画推進計画～東大阪 みる翔 プラン～」を策定し、男女共同参画社会の実現をめざして様々な施策に取り組んでまいりましたが、2020年度に目標年次を迎えるため社会情勢に応じた、第4次計画の策定を予定しています。

今回のアンケート調査は計画の見直しにあたり広く市民の皆様のご意見をお聞きするために実施します。お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

※回答はすべて無記名で統計的に処理されます。このアンケート調査によって個人が特定されたり、情報が漏れたりすることはありません。

※このアンケート調査は、市内在住の満18歳以上の皆さま方を無作為に選んで実施するものです。

東大阪市長 野田 義和

調査票を記入していただくうえでのお願い

1. 回答は、ご本人のお考えで記入してください。ただし、ご本人が記入できない場合は、ご家族などに代筆していただき、ご本人の意思を尊重して回答してください。
2. 回答は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で記入してください。
3. 回答は、あてはまる番号を選んで○をつけたり、番号を記入してください。また、記述を必要とする箇所は、その内容を記入してください。
4. 記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れ8月10日(金)までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)

〈お問い合わせ〉
東大阪市 人権文化部 男女共同参画課
〒577-8521 東大阪市荒木北一丁目1番1号

電話：06-4309-3300 (直通) FAX：06-4309-3823

問8～問9は、お仕事をされている方（問6(1)で1～4に答えた方）におたずねします。

問8 あなたは、いまの仕事でストレス（不安や悩み）を感じていますか。

〔(1)～(9)それぞれに○は1つ〕

	強く感じる	ストレスを	感じる	ストレスを	と感じない	ストレスを感じない	ストレスを感じない
(1) 上司や部下、同僚との人間関係の悩み	1	2	3	4			
(2) 労働時間が長い	1	2	3	4			
(3) 短時間勤務やフレックスタイムなどの制度がなく、勤務時間に柔軟性がない	1	2	3	4			
(4) 収入が少ない	1	2	3	4			
(5) 不況・解雇、将来性が感じられない	1	2	3	4			
(6) 仕事がおもしろくない	1	2	3	4			
(7) 子どもや高齢者の世話などがあって十分に働けない	1	2	3	4			
(8) 休みが十分とれない	1	2	3	4			
(9) その他(具体的に)	1	2	3	4			

*フレックスタイム制度… 労働協定に基づき、労働者が自分の始業時刻と終業時刻を一定の範囲で決められる制度

問9 あなたの今の職場では、性別によって、対応や評価に差があると思いますか。

あなたの実感に近いものを選んで番号に○をつけてください。

〔(1)～(12)それぞれに○は1つ〕

	男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が優遇されている
(1) 募集・採用の仕方	1	2	3
(2) 採用数	1	2	3
(3) 配置される職場	1	2	3
(4) 仕事の内容	1	2	3
(5) 賃金	1	2	3
(6) 昇進・昇格	1	2	3
(7) 能力評価(業績評価・人事考課など)	1	2	3

	男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が優遇されている
(8) 管理職への登用	1	2	3
(9) 研修の頻度や内容	1	2	3
(10) 定年までの働き続けやすさ	1	2	3
(11) 育児・介護休業などの取得のしやすさ	1	2	3
(12) その他(具体的に)	1	2	3

問10～問11は、お仕事を持っていない方（問6(1)で「5」に答えた方）におたずねします。

問10 あなたが仕事をしていないのはどうしてですか。〔○は1つ〕

1. やりたくない仕事がない
2. 求職中である
3. 家事や子育てをしている
4. 介護・看護をしている
5. 定年退職した
6. 健康上の問題がある
7. 学生である
8. 働く必要がない
9. 働きたくない
10. その他(具体的に)

問11 あなたは、今後、収入を得る仕事につきたいと思いますか。〔○は1つ〕

1. ぜひ、仕事につきたい
2. できれば、仕事につきたい
3. 仕事につきたいと思わない
4. わからない

問12は、問11で「1. ぜひ、仕事につきたい」「2. できれば、仕事につきたい」のいずれかに答えた方におたずねします。

問12 あなたは、今後、仕事につく上で何か困ったことや不安がありますか。〔○はいくつでも〕

1. 自分以外の仕事につけるか
2. 自分の資格や能力が通用するか
3. 職場の人間関係がうまくいくか
4. 賃金など、望む労働条件が得られるか
5. 自分の健康状態や体力
6. 家族の理解が得られるか
7. 家事、子育て、介護との両立ができるか
8. 年齢制限
9. 保育所(園)、学童保育を利用できるか
10. その他(具体的に)
11. 特になし

問13 あなたは、女性の生き方について、(1)どのような生き方が望ましいと思われますか。(男性もお答えください。)

また、(2)あなたの実際の生き方は、次のどれに当たりますか。(男性は、あなたの配偶者についてお答えください。配偶者のおられない男性は9を選択してください。)[(1)(2)それぞれに○は1つ]

女性の生き方について	思慕(1) 望ましい生き方	方(2) 実際の生き
結婚しないで、働き続ける	1	1
結婚し、子どもを持つ、持たないにかかわらず働き続ける	2	2
結婚し、出産したら育児休業した後、職場に復帰する	3	3
結婚し、出産を機に退職し、家事・育児に専念する	4	4
結婚し、出産を機に退職し、家事・育児に専念する	5	5
結婚し、出産をし、家事・育児に余裕ができてから初めて就職する	6	6
就職せず、結婚・出産し、家事・育児に専念する	7	7
その他(具体的に)	8	8
該当しない(男性で、配偶者はいない)		9

仕事と生活の調和についておたずねします

問14 あなたは、仕事や家庭、地域活動、趣味・娯楽などについて、自分が希望する時間の使い方ができていると思いますか。[○は1つ]

1. できている
2. どちらかといえば、できている
3. できている・できていないの、どちらともいえない
4. どちらかといえば、できていない
5. できていない

⇒ 問16へ
⇒ 問15へ

問15 は、問14で「4. どちらかといえば、できていない」「5. できていない」のいずれかに答えられた方におたずねします。

問15 あなたは、下の(1)～(10)の活動について、どのような時間の使い方をしていますか。[(1)～(10)それぞれに○は1つ]

	過ごす時間を取っている	時間を取れない	どちらでもない
(1) 育児	1	2	3
(2) 介護	1	2	3
(3) 買い物など、その他の家事	1	2	3
(4) 仕事	1	2	3
(5) 地域活動、社会活動	1	2	3
(6) 趣味・娯楽活動	1	2	3
(7) 家族とのコミュニケーション	1	2	3
(8) 友人・交際相手・同僚などのコミュニケーション	1	2	3
(9) 睡眠・休養	1	2	3
(10) その他(具体的に)	1	2	3

問16 ふだんの平日に、あなたは、家事・育児・介護について、どれぐらいの時間を使っていますか。[]内に数字(時間・分)を記入してください

(1) 家事に

(2) 育児に

(3) 家族の介護に

時間

時間

時間

分ぐらい

分ぐらい

分ぐらい

問17 あなたは、生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域活動」「個人生活」のどれを優先していますか。(1)あなたの希望と(2)あなたの現状(現実)について、1番と2番をお答えください。[]内に数字を記入してください

(1) あなたの希望

(2) あなたの現状

第1に

第1に

を優先したい

が優先されている

第2に

第2に

を優先したい

が優先されている

1. 仕事

2. 家庭生活

3. 地域活動

4. 個人生活

問18 今後、男女がともに仕事と生活の調和を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【あてはまるもの3つまでに○】

1. 働く場の確保・雇用制度の推進・充実

2. 育児・介護休業制度の普及や取得の促進

3. 労働条件の整備（労働時間短縮、フレックスタイムの普及等）

4. ワーク・ライフ・バランスを大切にすること

5. 結婚・出産・退職の慣行をなくす

6. 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識をなくす

7. 家族や配偶者（パートナー）の理解・協力

8. 昇進や賞金、教育訓練など職場における男女平等の徹底

9. 保育所（園）、学童保育など子育て環境や在宅福祉・施設福祉の整備・充実

10. 地域活動・ボランティアへの参加に対する上司や同僚などの理解

11. その他（具体的に）

*ワーク・ライフ・バランス… 誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで取り組むことができる状態のこと

子どもの育て方や教育についておたずねします

問19 あなたは、子どもの育て方について、次の(1)～(5)の項目についてどのようなように思いますか。
【(1)～(5)それぞれに○は1つ】

	そう思う	どちらかともいえない	どちらかともいえない	どちらかともいえない	どちらかともいえない	いそいそ思う
(1) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい	1	2	3	4	5	
(2) 妻や子どもを養うのは、男性の責任である	1	2	3	4	5	
(3) 育児や介護、病人の世話、男性より女性がする方がよい	1	2	3	4	5	
(4) 子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい	1	2	3	4	5	
(5) 男性の方が女性より、管理職としての責任がある	1	2	3	4	5	

	必ず身につけるべきだ	身につけたいと思う	身につけたいと思う	身につけたいと思う
問20 あなたは、次の(1)～(5)について、お子さんにどのくらい身につけてほしいと思いますか。①女の子、②男の子、それぞれについてお答えください。【(1)～(5)の①②それぞれに○は1つ】 ※お子さんがいない方も、仮にしていると想定してお答えください。				
(1) 自立できる経済力	1	2	3	4
(2) 家事・育児の能力	1	2	3	4
(3) 家族や周囲の人と協調して円満に暮らす力	1	2	3	4
(4) 個性を伸ばすこと	1	2	3	4
(5) 自立心	1	2	3	4

問21 男女平等を進めるために、小学校・中学校でどのような取り組みが重要だと思いますか。
【○はいくつでも】

1. 男女平等の意識を育てる授業をする

2. 進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする

3. 小学校の低学年から、「性」は人間の尊厳に関わるものであることを教える

4. 教職員に、男女平等教育に関する研修を充実する

5. 校長や教頭などに女性を増やす

6. 家庭科教育などにおいて、男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える

7. メディア（インターネット、テレビ、新聞など）の情報を正しく読み解き、役立てる能力を養う教育を進める

8. 保護者などを通じて保護者に対して男女共同参画の啓発をする

9. その他（具体的に）

10. 特になし

喜らしの悩みなどについておたずねします

問22 「男は仕事、女は家庭」という男女で役割を固定した考え方について、あなたはどのように思いますか。【○は1つ】

1. 同意である

2. どちらかといえば同意である

3. どちらかといえば同意しない

4. 同意しない

問23は、問22で「1. 同感である」「2. どちらかといえば同感である」のいずれかに答えた方におたずねします。

問23 その理由は次のうちどれに近いですか。〔〇は1つ〕

1. 子どもの頃からそのように教育を受けてきたから	2. 社会の風潮・慣習としてそうなっていると感じるから
3. 男で運う役割を感じるから	4. その他（具体的に）

問24は、問22で「3. どちらかといえば同感しない」「4. 同感しない」のいずれかに答えた方におたずねします。

問24 その理由は次のうちどれに近いですか。〔〇は1つ〕

1. 子どもの頃からそのように教育を受けてきたから	2. 社会の風潮・慣習としてそうなっていると感じるから
3. 男で役割を決めるのはきゅうくつだから	4. その他（具体的に）

問25 あなたは、生活の中でどのようなことでストレス（不安や悩み）を感じていますか。
〔(1)～(7) それぞれに〇は1つ〕

強くストレスを感じる	ストレスを感じる	ストレスを感じない	当てはまらない	
(1) 老後の生活（経済や健康）	1	2	3	4
(2) 配偶者やパートナー、恋人のことで	1	2	3	4
(3) 子どものことで	1	2	3	4
(4) 経済的なことで	1	2	3	4
(5) 家事の負担	1	2	3	4
(6) 親の介護や病氣	1	2	3	4
(7) その他（具体的に）	1	2	3	4

問26 次の地域活動について、あなたの参加状況に近いものに〇をつけてください。
〔(1)～(5) それぞれに〇は1つ〕

参加した、している	参加した、している	参加した、している	参加した、している	参加した、している
(1) 自治会・町内会の活動	1	2	3	4
(2) PTAや子ども会の活動	1	2	3	4
(3) 地域における趣味・スポーツ・学習の活動	1	2	3	4

参加した、している	参加した、している	参加した、している	参加した、している
(4) NPO（非営利団体）やボランティアの活動	1	2	3
(5) 民生委員・市協働委員会など公的な立場での活動	1	2	3

問27は、問26の(1)～(5)で「2.（参加した、している）今後は参加したくない」もしくは「4.（参加したくない）今後は参加したくない」に1つ以上答えた方におたずねします。

問27 それはどうしてですか。〔〇はいくつでも〕

1. 仕事から忙しいから	2. 家事・育児・介護で忙しいから
3. 健康状態がおもわしくないから	4. 活動に魅力がないから
5. 人間関係がわずらわしいから	6. 活動の情報が得られないから
7. 参加するきっかけがないから	8. あまり関心がないから
9. その他（具体的に）	

問28 あなた自身に介護が必要となった場合、主に誰に介護をしてもらいたいと思いますか。〔〇は1つ〕

1. 夫	2. 妻	3. 息子
4. 娘	5. 兄弟	6. 姉妹
7. 息子の妻	8. 娘の夫	9. 知人・友人
10. ヘルパーなどの介護従事者	11. 施設での介護	12. その他（具体的に）

問29 あなたは、今後、男性が家事・育児・介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。〔〇はいくつでも〕

1. 男性の家事・育児・介護などへの男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性の家事・育児・介護などへの女性の抵抗感をなくす
3. 男性の家事・育児・介護などへの社会の評価を高める
4. 夫婦の間で、家事・育児・介護などの役割分担について話し合う
5. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める
6. 労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持つようになる
7. 講習会や研修によって、男性の家事・育児・介護などの技能を高める
8. 男性の家事などに對する関心が高まるよう啓発や情報提供を行う
9. 家事・育児・介護などについて男性間の仲間（ネットワーク）づくりをすすめる
10. その他（具体的に）
11. どれも必要はない

メディアの表現などについておたずねします

問30 テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどメディアにおける表現について、あなたはどのように思いますか。〔(1)～(5) それぞれに○は1つ〕

	その通りだと思ふ	えほ、そう思ふ	どちらかといふ	そう思わない	どちらかといふ	そう思わない	わからない
(1) 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現している	1	2	3	4	5		
(2) 性的側面を過度に強調するなどの表現が目立つ	1	2	3	4	5		
(3) 社会全体の性に関する正確な情報・偏見を正すおそれがある	1	2	3	4	5		
(4) 女性に対する犯罪を助長するおそれがある	1	2	3	4	5		
(5) 子どもの目に触れないような配慮が足りない	1	2	3	4	5		

問31 テレビ局、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどメディアにおける性の表現において、問題だと考えられるのはどの点ですか。〔○はいくつでも〕

1. テレビ局・新聞社・出版社・広告代理店などのメディアにかかわる事業所の社員に女性が少ないこと	
2. 性的な表現に青少年が容易に接触できること	
3. 性別役割分業を固定化するような表現がされていること	
4. 男女が対等な関係で描かれていないこと	
5. 女性を損傷的な対象物として扱っていること	
6. 女性を対象とする性・暴力表現がされていること	
7. その他（具体的に）	
8. 特にない	

問32 テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどメディアにおける性表現について制限をする場合、どのような方法がよいと思いますか。〔○はいくつでも〕

1. メディア、制作会社や業界団体による自主規制を求める	
2. インターネットにアクセスするためのサービスを提供している接続業者において、有害なサイトへのアクセスを制限する	
3. 親がインターネット上の違法・有害なサイトにアクセスできないようにするなど、受け手側が制限する	
4. 違法・有害情報に関する通報・相談窓口の活用を促進する	
5. 行政機関によるメディアや制作会社への指導・啓発を促進する	
6. 法改正や新しい法律の制定によって規制する	
7. その他（具体的に）	
8. 特に制限の必要はない	

性のあり方についておたずねします

問33 あなたは、ダイバーシティという言葉を知っていましたか。〔○は1つ〕

- 言葉もその意味も知っていた
- 言葉は聞いたことがあるが、意味はよく知らなかった
- まったく知らなかった

＊ダイバーシティ…性に対する指向、生活習慣、価値観などは、人によってさまざまなダイバーシティ(多様性)と呼ばれて、これらの多様性を受け入れて社会として新しい価値を生み出すことが求められています。

問34 人が互いの違いを受け入れあって社会の活力を増進するために、特に尊重すべき多様性は何だとお考えでしょうか。〔○はいくつでも〕

1. セクシュアリティ(性別、性的指向)の多様性	
2. ライフスタイルや価値観・考えかたの多様性	
3. 障害の有無など身体的・精神的な特性の多様性	
4. 生活習慣や宗教など文化的な多様性	
5. 出身国・地域や民族の多様性	
6. その他（具体的に）	
7. どれも尊重すべきだとは思わない	

問35 性的少数者(LGBT)は人口の8%程度を占めるといわれ、偏見や差別、また日常生活の不便に苦しめられていることも少なくありません。

これらの性的少数者の困難を解決するためには何が重要だとお考えでしょうか。〔○は3つまで〕

1. 性的少数者の困難の実態を知らせ、それらに対する社会の課題を啓発する	
2. (婚姻に準ずる)同性パートナーシップ制度などを導入する	
3. 差別や人権侵害を禁止する条例などを制定する	
4. 差別や人権侵害のための相談窓口を設置する	
5. 性の多様性についての学校教育を充実する	
6. 公文書などにおける性別の表示について柔軟に対応する	
7. 性別に関係なく利用できる多目的トイレの設置を推進する	
8. その他（具体的に）	
9. どれも必要ではない	

＊性的少数者(LGBT)…レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(心と体の性の不一致を感じている人)などの総称です。

配偶者や恋人間の暴力についておたずねします

問36 あなたは配偶者や恋人に、次のようなことをされたり、したことがありますか。

【(1)～(13)の項目ごとにあてはまるものすべてに○】

	されたことがある	したことがある	したことがない
	回数 ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ 8 ⑨ 9 ⑩ 10 ⑪ 11 ⑫ 12 ⑬ 13	回数 ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ 8 ⑨ 9 ⑩ 10 ⑪ 11 ⑫ 12 ⑬ 13	回数 ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ 8 ⑨ 9 ⑩ 10 ⑪ 11 ⑫ 12 ⑬ 13
(1) 平手で打つ	1	2	3
(2) こぶしでぶぐつたり、足で蹴る	1	2	3
(3) 身体を構つづける可能性のある物でなぐる	1	2	3
(4) 生活費を渡さない	1	2	3
(5) なぐるふりをして、おどす	1	2	3
(6) 刃物などをつきつけて、おどす	1	2	3
(7) 相手がいやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
(8) 見たくないのに、アダルトサイトやポルノ映像・雑誌を見せる	1	2	3
(9) 何を言っても長期無視し続ける	1	2	3
(10) 交友関係や携帯電話、スマートフォンなどを細かくチェックする	1	2	3
(11) 「誰のおかげで生活できるんだ」「食わせてやっている」と言う	1	2	3
(12) 大声でなったり、物を壊したりする	1	2	3
(13) 避妊に協力しない	1	2	3

1つでも○があれば問37へ。その他の方は問39へ

問37 は、問36(1)～(13)の「1」または「2」に1つ以上○をした方におたずねします。

問38 のようなことをされるとき、その後どうしましたか。【○はいくつでも】

1. 一人（夫と妻、パートナー・恋人同士）で話し合った

2. 親や兄弟姉妹、親類に相談した

3. 友人・知人に相談した

4. 公的機関（警察、弁護士、福祉センター、配偶者暴力相談支援センターなど）に相談した

5. 民間の機関（支援グループなど）に相談した

6. 安全なところに避難した

7. 医療機関（心療内科など）に相談した

8. 警察に連絡、相談した

9. その他（具体的に）

10. どこにも相談しなかった、また、相談できなかった

問38 は、問37 で「10. どこにも相談しなかった、また、相談できなかった」と答えた方におたずねします。

問38 どこにも相談しなかった、また、相談できなかったのはなぜですか。【○はいくつでも】

1. どこに（誰に）相談したらよいかわからなかった

2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった

3. 相談しても無駄だと思った

4. 相談したことがわからず仕返しをされたり、さらに暴力をふるわれると思った

5. 自分さえ我慢すればやっていけると思った

6. 自分にも悪いところがあると聞いた

7. 相談するほどの事ではないと思った

8. その他（具体的に）

9. わからない

男女共同参画社会の形成についておたずねします

問39 あなたは、社会における次の分野において、男女が平等になっていると思いますか。

【(1)～(9) それぞれに○は1つ】

	男性が優遇されている	男女が平等である	女性が優遇されている
(1) 学校教育の場では	1	2	3
(2) 雇用の機会や働く分野では	1	2	3
(3) 職場（賃金や待遇など）では	1	2	3
(4) 家庭生活の場では	1	2	3
(5) 地域活動、社会活動への参加では	1	2	3
(6) 社会通念・慣習やしきたり（結婚葬祭など）では	1	2	3
(7) 法律や制度では	1	2	3
(8) 政治・経済活動への参加では	1	2	3
(9) 社会全体からみて	1	2	3

問42 あなたは、次の法律や言葉、東大阪市の取り組みをご存じですか。
【(1)～(15) それぞれに○は1つ】

	知っている かどうか	聞いたこと がある	知らない
(1) 東大阪市男女共同参画推進計画 ～東大阪 みらい 翔プラン～	1	2	3
(2) 東大阪市男女共同参画推進条例	1	2	3
(3) 男女共同参画社会基本法	1	2	3
(4) 男女雇用機会均等法	1	2	3
(5) 東大阪市子ども虐待から守る条例	1	2	3
(6) 育児・介護休業法	1	2	3
(7) 女子差別撤廃条約	1	2	3
(8) ストーカー行為規制法	1	2	3
(9) DV防止法	1	2	3
(10) 女性活躍推進法	1	2	3
(11) ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3
(12) ジェンダー(社会的性別)	1	2	3
(13) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3
(14) リプロダクティブ・ヘルス/ライズ(性と生殖に関する健康と権利)	1	2	3
(15) 男女共同参画センター「イコラーム」の女性のための相談 電話相談 072-960-9206/面談相談予約 072-960-9205	1	2	3

問43 男女共同参画社会実現のためのご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。最後までご回答いただきありがとうございます。

問40 東大阪市では、女性の心とからだの健康を保つために以下の取り組みを行っています。ご存じですか。(1)～(7) それぞれに○は1つ)

	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない
(1) 真生活や健康づくりに関する情報提供	1	2	3
(2) 安心して出産にのぞむための検診・相談	1	2	3
(3) 女性特有の健康上の悩みなどに応じた女性専用相談窓口	1	2	3
(4) 女性のための悩みや不安(DVを含む)に対する相談	1	2	3
(5) リフレッシュできるような場の提供	1	2	3
(6) 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための講座などの開催	1	2	3
(7) その他(具体的に)	1	2	3

*DV…配偶者や恋人など親しい人からの暴力。「身体的暴力」「精神的暴力」「性的暴力」「経済的暴力」「社会的暴力」「子どもを利用した暴力」などを指します。

問41 あなたは、「男女共同参画社会」を推進するために、どのような活動に参加したいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女平等をめざした制度や施策の制定や見直しについての意見を述べたり、提案をする

2. 政策決定の場に積極的に参加する

3. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習会を開催したり、参加したりする

4. 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの活動に参加する

5. 子育て支援に関する活動に参加する

6. 高齢者や障害者の介助のための活動に参加する

7. 女性に対する暴力防止のための活動に参加する

8. 男女共同参画センターで開催される学習会や講演会に積極的に参加する

9. 多様な文化や生活習慣に関する理解を深めるための国際交流の場に参加する

10. その他(具体的に)

11. 特になし

*男女共同参画社会…男女が、互いの人権を尊重しつつ、職場や家庭、地域活動など、社会のあらゆる場に対等に参画し、共に責任と喜びを分かち合う社会

東大阪市男女共同参画に関する市民意識調査
【結果報告書】

発行年月：平成31年（2019年）3月

発行：東大阪市人権文化部男女共同参画課

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号

TEL：06-4309-3300（直通） FAX：06-4309-3823